

ケル、中国・珠海に工場

コネクター 28年度売上高2倍

ケルは中国広東省珠海市に同社初の海外工場を新設する。現地で旺盛な車載機器や画像機器向けコネクター需要、現地生産・供給ニーズに対応する。2025年4月に稼働予定。将来は工業機器や

医療機器用のコネクター需要を取り込み、28年度に中国事業売上高を50億円（24年度見込みは約23億円）に倍増を目指す。

11月中にも珠海市内にコネクター製品の新社「科陸连接器（珠海）」（仮称）を設立する。資本金は2500万元（約5億3000万円）。董事長は春日明社長が兼務する。現地では、車載機器や画像機器に使われるフローティングコネクターや高速伝送用コネ

クターの引き合いが強い。根強い現地生産・供給の要求に応じて、顧客の獲得につなげる。

併せて、国内の3工場と中国生産拠点で内外のサプライチェーン（供給網）を整え、事業継続計画（BCP）体制を築き、有事にも備える。

日本から製造設備を送り、複数のラインを

導入する。プレスやメッキ、成形など部材の1次加工はせず、組み立てから検査など品質管理、出荷を行う。

ケルは現中期経営計画（22―24年度）で海外事業の強化・拡大を掲げ、4月に米国拠点を設置し海外に五つの販社を持つ。中国には上海、香港などの三つの販社があり海外事業を先導している。